

学 年	高校 2 年	必修・選択の別	選択
教 科 名	任意設置科目	単 位 数	2 単位
科 目 名	Sustainable Society Research	担 当 者	帖佐 香織・城村 怜
講 座	1 講座		

科目のねらい（目標）

この授業は、文部科学省の委託事業である「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」のひとつのプログラムです。1 年生で必修科目として学んだ、「Sustainable Society Study」を基礎として、さらに発展的な内容を扱います。

このプログラムでは、様々な社会課題について学び、その解決策を考えるプロセスを通じて、学んだ知識等を基礎として、答えない問いに取り組む力を養います。グローバルな社会課題への解決を目指す SDG s の達成に貢献するため、世界中から集まる帰国生徒と国内一般生徒がこれまで身に付けた経験や知識を共有することで新しいアイデアを構築することもできるでしょう。また、この講座で学んだことを踏まえ、住んだことのある場所を改めて見てみると、新たな発見があるかもしれません。

具体的には、SDG s 17 の目標のうち、特に「# 1 1 住み続けられるまちづくりを」を中心テーマとして、本プログラムは展開されます。「まちづくり」とは何か、ということを通して、社会がどのように成り立っているのか、政府や地方自治体、企業や国際機関、そして市民は社会のなかでどのような役割をになっているのかということ、皆さんが理解するきっかけとなることを願います。また、持続可能なまちづくりを目指しておこなわれている国内外の先進事例について学び、自分たちで政策を考えてみることで、自分自身が社会の一員であり、同じように社会の一員である誰かの努力によってより良い社会がつけられていること、そして自分も何かができるということを感じてもらえれば、と思います。

そして、この講座の内容にとどまらず、今後の学びの基礎となる、Academic Skills の習得を目指します。特に、問題の分析・調査の方法や新しいアイデアを発想する方法、批判的思考、議論をしたり、その結果をまとめて発表したり、レポートを書いたりする技術の習得を目指します。Academic Skills は、この学校はもちろん、卒業後にも生かされるものです。

そして、FW などを通じて、自分の部屋や学校で「学ぶ」だけでなく、社会に積極的に関心を向け、主体的に行動できる人になってほしいと思います。

学習の進め方

以下の 4 つの内容を中心に進める。

- 【1】問題解決の方法論や、Academic Skills の習得を目指す。
- 【2】世界の課題やまちづくりの先進事例などについて学習する。
- 【3】まちづくりに関する一つのテーマに沿ったリサーチブックを作成する。
- 【4】FW の準備を行う。

生徒の学習上の留意点

- ・知識を得ることが必要なのはもちろんですが、知識を体系的に理解し、自ら思考することによって問題解決を目指す姿勢が大切です。論理的な裏付けや地道なリサーチと同様、高校生らしい、自分らしいアイデアも大切にしてください。
- ・問題を他人事とせず、社会に関心をもつ、自分も社会の一員としてできることを考え、やってみることも大切です。これからの社会は皆さんがつくっていくのです。
- ・理科、社会の教員がティームティーチングで担当します。二人の先生の意見が異なる場合もあるかもしれませんが、柔軟に受け止めましょう。皆さんのグループワークにおいて、それぞれの長所を生かし、短所を補い合う、また、自分のことで貢献する姿勢が大切です。

評価方法

提出物、授業での発表や取り組み、貢献度など、総合的に判断して評価を出します。

使用教材

テーマによって、担当者が随時準備する。

授業計画

学期	授業内容	各単元のねらい
1	問題解決の方法論 輪読	方法論を使ってアイデアを生みだしたり、問題を解決したりする実践を行う。 輪読を通じてまちに関する視野を深化させる。
2	個人プロジェクトの発展 アカデミックライティングの習得 リサーチブックのテーマ決め	夏休みの宿題から発展させる形で、個人のプロジェクト（レポート・発表）を中心に進める。作業を通じて、アカデミックライティングの基礎を習得する。 リサーチブックのテーマを決めるための話し合いも行う。
3	リサーチブックの作成 フィールドワークの準備	リサーチを作成するグループ作業が中心となる。 加えて、フィールドワーク先を決め、その下調べも行う。